

逆境を経験した 子どもの「こころ」と 発達を支える

ー 英国に学ぶトラウマ、脳と発達の多様性、
メンタルヘルス ー

子どもの「困った行動」や、人との関わりの難しさ。その背景には、これまでに経験してきた辛いできごとや、うまく言葉にできない気持ちが隠れていることがあります。虐待やネグレクト、家族との分離等、幼い頃にさまざまな逆境を経験した子どもたちの「こころ」と発達を、私たちはどのように理解し、支えていけばよいのでしょうか。

本セミナーでは、英国グラスゴー大学で児童・青年精神医学を専門とするHelen Minnis 教授をお招きし、トラウマや愛着、脳と発達の多様性、メンタルヘルスについて、英国の研究や実践をもとに、子どもの行動の背景を理解するためのさまざまな視点をお話しいただきます。

後半は、日本の児童養護施設、児童相談所、児童心理治療施設で子どもに関わってきた実践者も加わります。英国から学びつつ、日本の現場で感じていること、悩んでいることを持ち寄り、子どもの「こころ」と発達を支えるために私たちにできることを、一緒に考えてみませんか。

*For every child,
a brighter tomorrow.*

すべての
子どもに、
よりよい明日を

基調講演

Helen Minnis 教授

University of Glasgow:
School of Health & Well-being

講師紹介

専門領域：児童・青年精神医学。反応性愛着障害やその他の発達障害について研究している。
グアテマラの乳児院に医師として勤務した経験が、現在の研究の出発点となっている。



2026年 **10月24日(土)**
13:00～16:30 (受付 13:00 開始、開会 13:30)



大阪公立大学 文化交流センター「ホール」
(大阪市北区)
<https://www.omu.ac.jp/bunkakouryu-center/access/>
(JR 大阪駅より徒歩 7 分)



プログラム

第1部
13:30-14:30

基調講演
Helen Minnis 教授 (日本語通訳があります)

第2部
14:40-15:30

日本の実践者からのコメント
児童養護施設「入舟寮」施設長 **城村威男** さん
枚方市子ども未来部参事(児童相談所設置準備担当) **薬師寺順子** さん
児童心理治療施設「希望の社」施設長 **山野泰弘** さん

第3部
15:30-16:30

対談・ディスカッション (日本語通訳があります)
「社会的養護における子どものメンタルヘルス支援をどうつくるか」
司会進行：伊藤嘉余子 (大阪公立大学教授)



お申込み

10/21(水)までに電子メールで
お申込みください。

gr-sss-center@omu.ac.jp
メール本文にお名前(フリガナ)、
ご所属、電話番号をお書きください。

※ 定員になり次第、
締め切らせていただきます。



参加費

1,000円 (資料代を含む)

お支払いは、現金に限ります。

事務の都合により、千円札で

お支払いいただくと、たいへん助かります。

主催

大阪公立大学 教育福祉研究センター

共催

大阪府立大学 社会福祉学会

子どもたちの今と未来のために、
ともに考える時間を。

